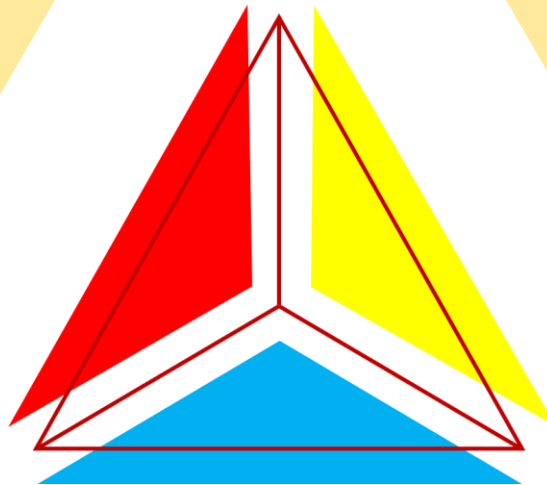


Tsuchiurangle

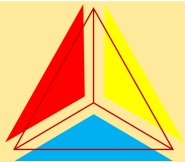
～市民の市民による市民のためのカスタマイズ～



木村航太 芦田遥陽 大橋瑞生 大場星哉
高祖侑希 西美佳 御手洗陽 TA:堀龍一

背景





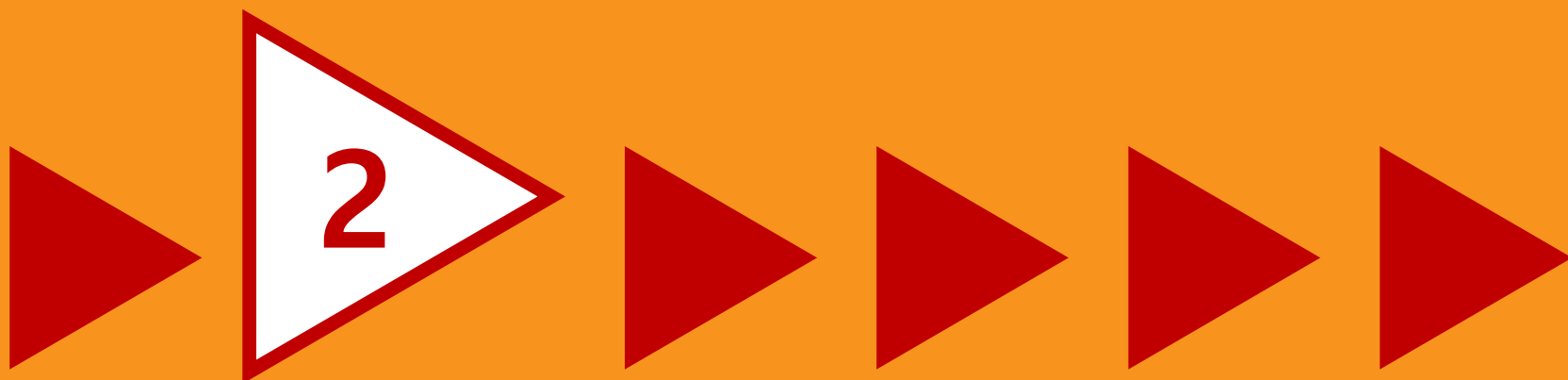
土浦は地方都市か？郊外都市か？

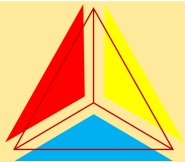
- ・都市雇用圏→つくば・土浦都市圏
- ・生活が**エリア内で完結**
- ・一定規模の**工業生産額**を保持
- ・一定数の人口の社会増減



市内でくらしが完結する
地方都市の性格が強い

基本構想





土浦の社会そのものの更新必要性



財政難
出生率低下・高齢化率上昇

行政によるすべての社会基盤の維持、
行政ニーズへの対応は今後困難になる・・・

市民が自分自身で生活をつくる・発展させる！

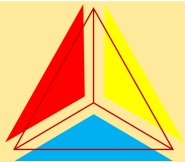


市民の**目線**で
土浦にあったまちを
市民の手でカスタマイズする
「土浦のアングル Tsuchiurangle」

- ・ 市民が自分たちの手で**住みたいまち**をつくっていくまち
- ・ 市民の手で**生活を豊かに**していくことができるまち
- ・ 市民が**活躍できる**まち

地方都市として将来においても
発展できる独自の土台を築いていこう！





なりわい

暮らし

文化・交流

暮らし 生活空間・ ～ コミュニティ ～

3

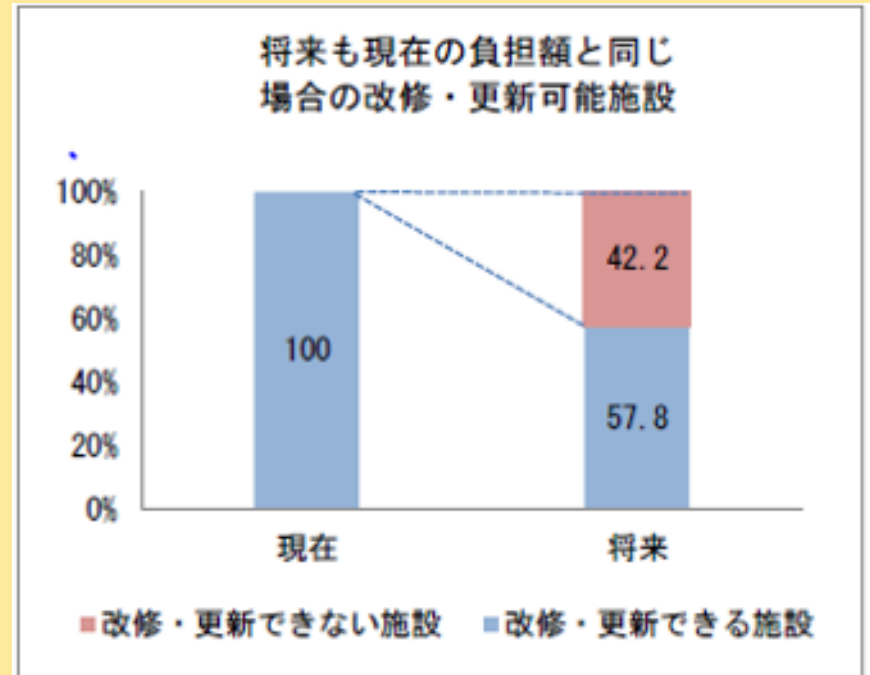
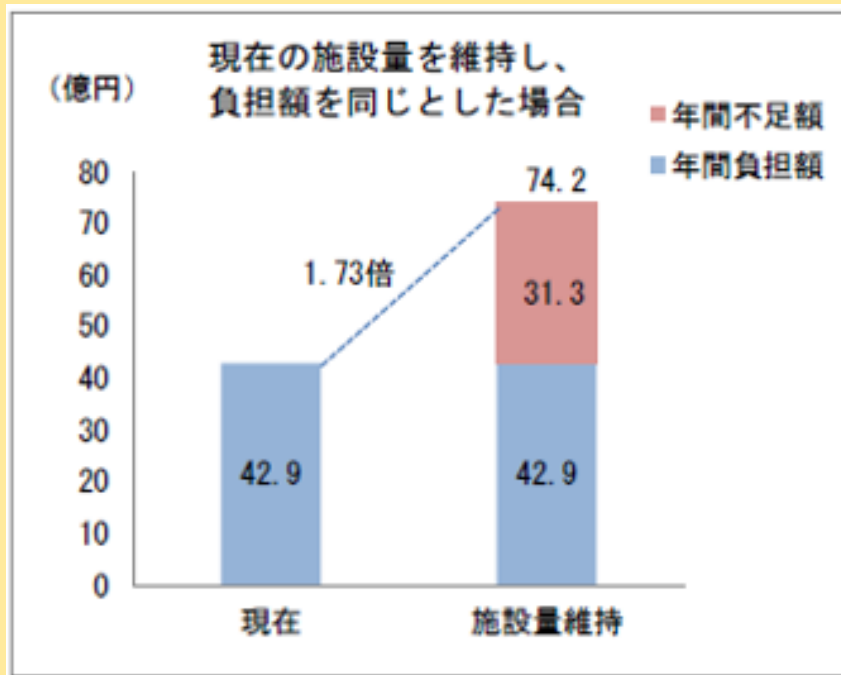


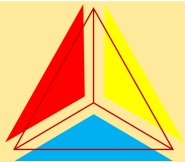
逼迫する道路予算

9

- ・更新費用が増加する見込み
→現状の予算構成では維持できない

※改修費用が現状はほぼ無く、歳入も減少の見込み

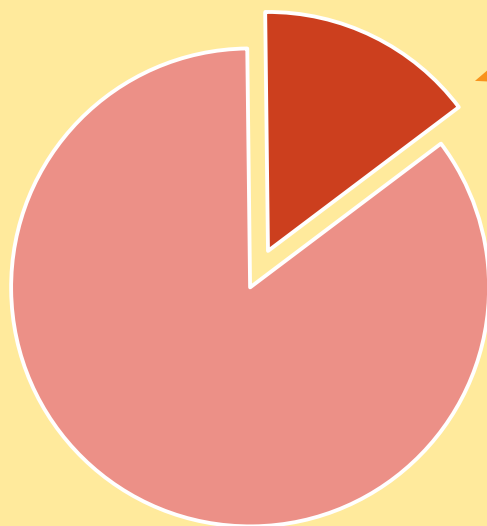




逼迫する道路予算

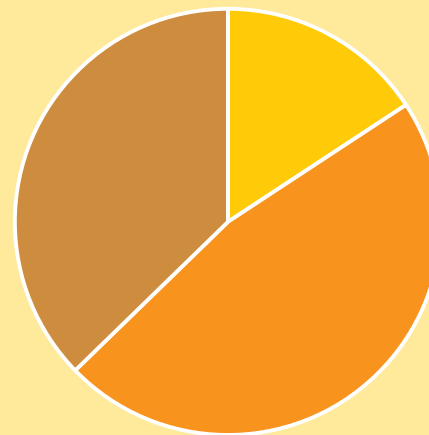
10

全体：土木予算比(約645億)



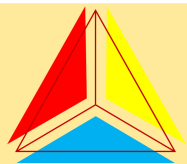
■ 全体 ■ 土木費

土木費予算目別枠組み



■ ハード維持 ■ ハード開発 ■ 行政機能維持

- ①維持費自体は大きくない、総務費とかが多い
- ②新設工事が多い→減らす・選んでいく必要がある



予算の削減方針

11

集中

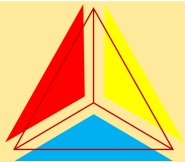
住民の危険認知・
必要性に
基づいた投資

選択

整備する
道路・橋脚設備
を選ぶ

委託

住民参画の
仕組み



課題解決の方針

12

必要となるのは…

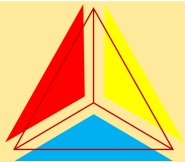
自分たちの手で住みたいまちを
つくるコミュニティ



① 住民の意思を踏まえた
効率の良いインフラ整備

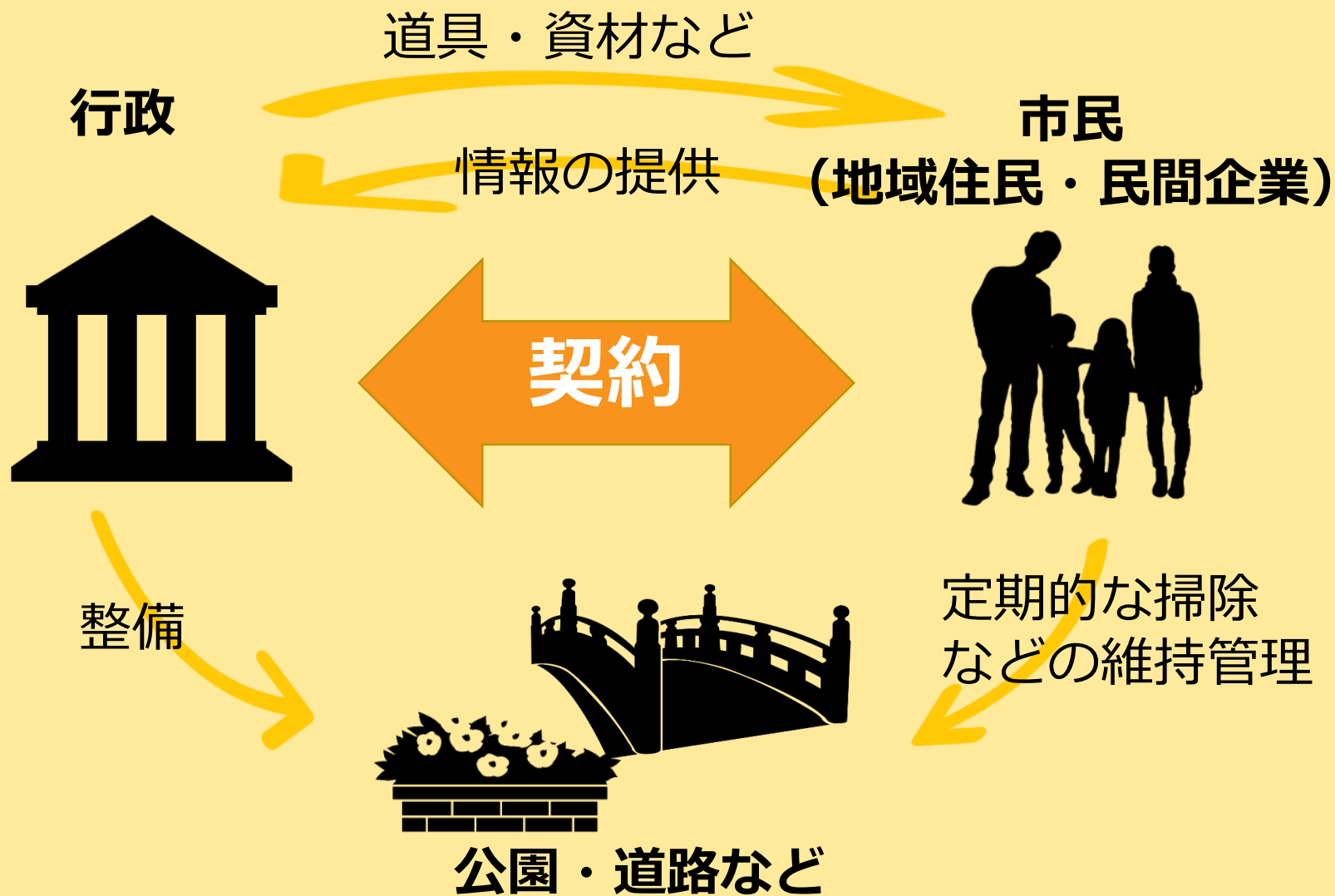
② 市民活動の活性化

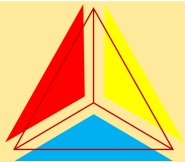




アドプト制度

13

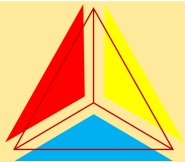




アドプト制度によるコミュニティ強化 **14**

- ① 中学校区単位でアドプト制度の契約
- ② さらに小さな単位（町内会）ごとに管理区域を定める
- ③ イベント（町内のまつり・食事会）と管理事業の同時開催

市民自身の手で生活を豊かに



効果

15

①住民の意思を踏まえた効率の良いインフラ整備

市民のインフラに対する関心が上昇



市民から行政への情報提供

市民のニーズに合った効率的なインフラ整備

②市民活動の活性化

削減できる予算
約1億6千万円

草刈り委託料
側溝清掃委託料
道路清掃委託料
公園清掃委託料 など

予算配分の変更

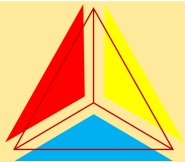


**自治会などへ
市民活動費の補助**

文化・交流

～駅前広場～





現状・課題

18

- ・ 駅前商業の衰退・・・ペルチ土浦の撤退
- ・ 歩行空間の線化・・・ロータリー、
ペDESTロリアンデッキ
- ・ 買い物客が少ない

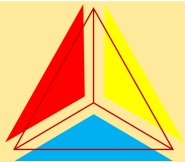


市民

街の顔として賑わいが必要(満足度調査より)

しかし買い物目的で市民は駅前に訪れない？

公共施設（アルカス土浦・市役所）中心に
商業施設に頼らない駅前の賑わい創出を



目指す駅前像

18

- 市民が**出会う・行きかう**場
- 市民が**とどまる**場
- 市民の**自己表現**の場

市民の活動拠点

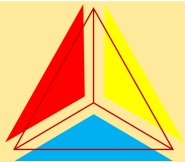


商業復活による
にぎわい



将来的には・・・

公共サービスの集約化を目指す



具体的提案

19

広場の開拓

- ・ペDESTリアンデッキの撤去
- ・現在の送迎ロータリーの工事
⇒小さな子でも遊べる芝生の設営

留まる場づくり

- ・地元カフェ & キッチンカー誘致
- ・テーブル・椅子の設置 ⇒オープンテラス化

市民活躍の場

- ・アルカス土浦ギャラリーの活用促進
- ・ステージ設置によるミニコンサート開催



駅前広場図案イメージ

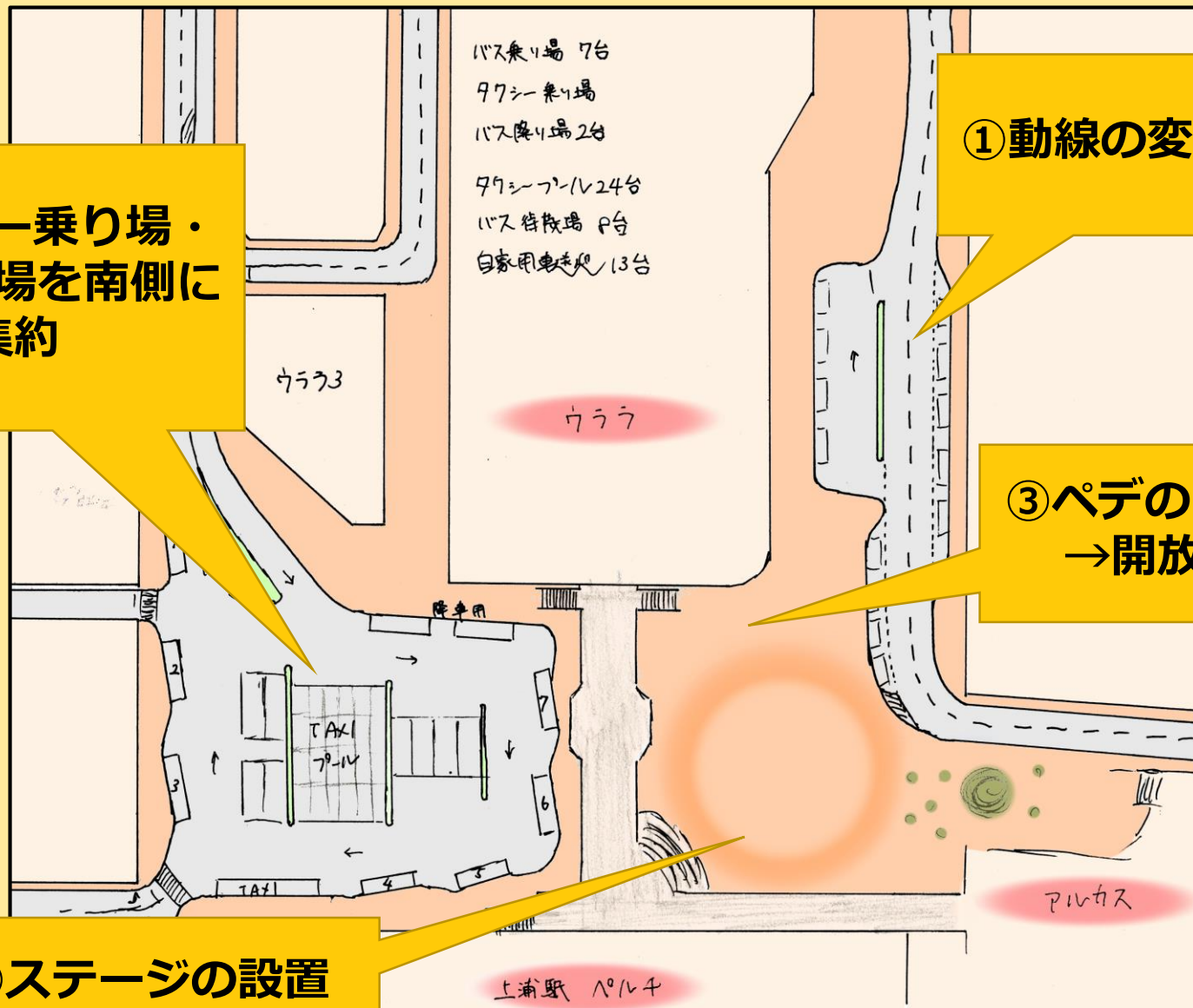
20

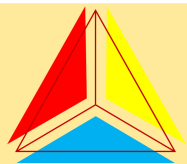
② タクシー乗り場・
バス乗り場を南側に
集約

① 動線の変更

③ ペデの一部撤去
→ 開放感Up

④ ステージの設置



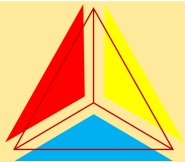


広場の開拓・留まる場

- 土日マルシェ開催
 - ・地元野菜の地産地消
 - ⇒市役所休業日の駅前人口減少の対策
- URARAビル内カフェの屋外スタンドを誘致
 - ・夏場は周辺居酒屋とビアガーデン開催
 - ⇒広場に留まる

市民活躍の場

- 市内中学校の合唱発表
- 土浦交響楽団メンバーによる演奏
- ⇒地域団体と駅がより密接にかかわるきっかけ



広場整備費用について

22

駅前撤去費

	面積	費用
測量費	3200㎡	30,000千円
ペDESTリアン解体		50,000千円
ロータリー部分撤去・舗装	1,700㎡	15,300千円
小計①		95,300千円

広場整備費

	面積	費用
休憩所（新設）	500㎡	100,000千円
広場整備	2500㎡	18,000千円
歩道整備	500㎡	10,000千円
ステージ、電源設置費		20,007千円
階段設置		3,500千円
植栽		50千円
小計②		151,557千円

合計（小計① + ②） ⇒ 2億5千万円



広場整備による効果

23

① イベントによる売り上げ

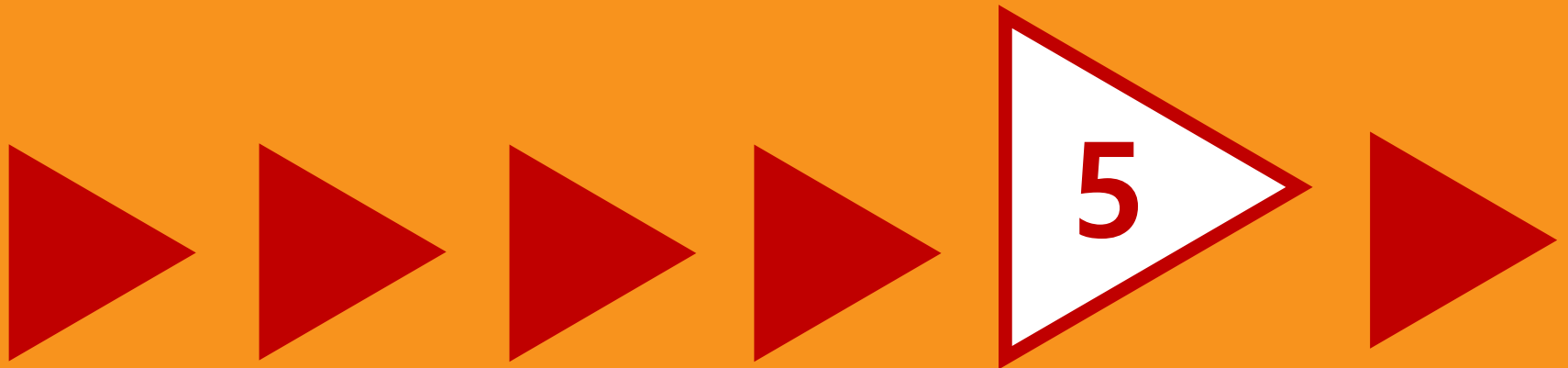
② にぎわいの創出

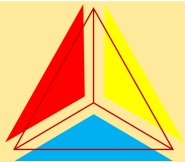
③ 駅前広場整備費の削減

④ 周辺商業波及



なりわい ～働き方改革～





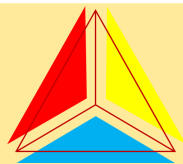
土浦



大都市での就職集中

土浦での職業の選択肢を増やし、
地元就職を促したい！

起業家支援によって雇用の受け皿増やす



土浦の資源（地域特色や人材）を
活かす**スタートアップ事業**を支援する
→**職業の選択肢**を増やす

①地域特色を活かす

②土浦の人材活用

③モール505のシェアオフィス化

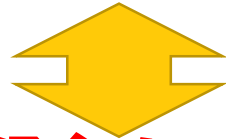


起業支援を進める上での弊害 27



インタビュー：筑波大発起業家
筑波大学情報科学類 田所真幸様
(写真引用元：本人Facebookより)

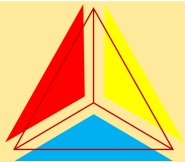
地方での起業は**家賃の安さ**などが魅力。



投資ファンドが都心に集中しているため、

起業家は何度も東京に足を運ぶ必要がある。

土浦でやるなら**都心との差別化**が必要



土浦の特色を活用できる起業家を集中的に呼び込む

起業家

事業を
進めやすい

Win-Win!!!



土浦市

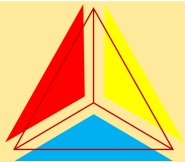
土浦の特色
強めてもらえる

→土浦の**特色**とは？

①一次産業、二次産業との連関

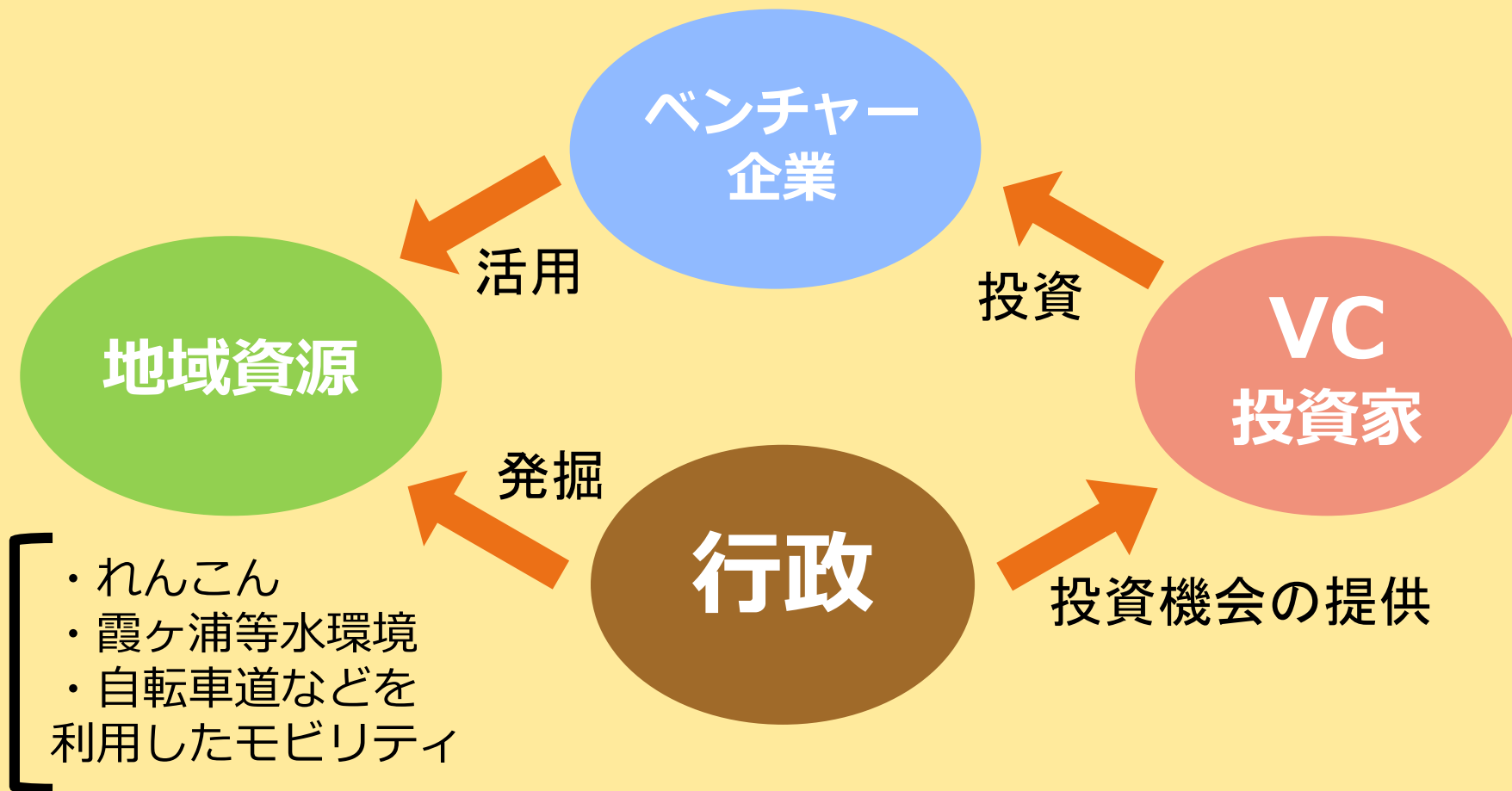
②教育機関の充実

- ・市内に数多くの高校、周辺に大学や研究機関
⇒人材発掘のチャンス

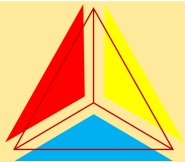


①地域特色を生かす

29



“土浦ならではの事業”と“大都市圏に負けない環境”の両立



②土浦の人材活用

30

出張授業

ベンチャー企業に高校・大学へのお出張授業を行う機会を提供

インターンシップ制度の実施

ベンチャー企業にインターンシップ制度を活用してもらうことで自分たちの事業を体験型で知ってもらう機会を提供

ベンチャー企業展覧会

土浦市内の高校生や市民を招待し、ベンチャー企業の事業・成果を発表・紹介する

土浦市：スタートアップ支援が盛んというイメージの定着
起業家：優秀な人材を育成・発掘するチャンスを容易に得られる



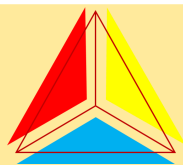
③モール505のオフィス化

31

モール505を起業家向けオフィスとして リノベーション

- ✓一部の部屋をコワーキングスペースとして開放
→直接会って話し合いできる場の提供
- ✓初期費用やランニングコストの無償化
→土浦でのスタートアップを気軽に体験
- ✓プリンター等共有設備の提供
→共同利用によるコストカット

起業家に魅力的なオフィス空間の創出



費用

32

ベンチャー企業への補助金(1社当たり)

補助項目	補助額(円)
一社当たりの賃貸補助金(年間)	730,944
経営支援費(セミナー等)	370,000
リフォーム費:初年度のみ	3,130,000
企業一社への補助額合計(年間)	4,230,944

土浦市負担費用

土浦市負担項目	費用(円)
企業への補助金(27社誘致できたと仮定)	114,235,488
PR費	24,000,000
合計	138,235,488



- ・ 起業希望者のうち、
実際に起業する割合が2倍になることを想定

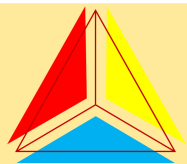


6年後に257人の雇用増

雇用増加の経済効果を求めると・・・

$$\begin{aligned} & 257人 \quad \times \quad 462万円 \quad \times \quad 0.72 \\ & (\text{増加した雇用人数}) \quad (\text{茨城県平均賃金}) \quad (\text{消費性向}) \\ & = \mathbf{8.60億円の経済効果} \end{aligned}$$





なりわい

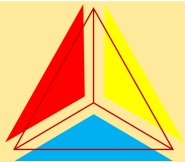
起業支援による雇用、
新しい職分野の創出
→ **土浦での新しい
働き方**

くらし

生活圏に対応した
コミュニティ
→ **自分たちの手で
くらしを豊かに**

文化・交流

駅前広場をはじめとする
住民の活躍の場の提供
→ **市民が活躍できるまち**



地区別構想

- ・ 3つの部門別構想を基に各地区の特徴・文化・課題を踏まえより具体的な事業を提案

費用対効果について

- ・ 部門別構成の市民の生活への波及効果や財源への効果を精整
- ・ 地区別事業の予算を明示